

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	市民文化フェア開催支援事業	所管	教育委員会教育総務部 社会教育課
			TEL 2998-9242

事業の目的 (何の為に 行うか)	実行委員会による企画の立案や市民の文化活動の発表と交流の場の提供等を通して、文化の面から所沢のまちづくりに貢献し、新しい市民文化の創造を目指す。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	市民	対象とした数	339,058	人
		実際に 利用した数	96,800	人

活動の内容	(何を したか)	①毎年、4月第1週の土曜日・日曜日に航空記念公園を会場として開催する。催し物のひとつである高校演劇祭は6月にミューズで開催する。 ②企画・運営は、個人・法人・市民団体の自主的な参加で組織する市民文化フェア実行委員会(市民のボランティア組織)が行なう。 ③実行委員会の主な自主財源は、市内企業・商店等からの協賛広告料である。 ④市は実行委員会に補助金を交付して運営を援助する。											
	活動実績	項目名	市民文化フェア実行委員会関係者数	300	単位	人	項目名	市民文化フェア催事(プログラム)数	30	単位	事業	項目名	

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	5,400	5,400	9,721	28.7

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	事業参加者(会場入場者)数	4月の市民文化フェア2日間と6月の高校演劇祭の延べ入場者数	100000	96800	96.8
			単位 人	単位 人	単位 %

今後の方向性 (所管の意見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ]				
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止				
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了				

今後の方向性 (二次評価の意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [ ] 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名	事業コード 120328	市民文化フェア開催支援事業	担当部課 教育委員会教育総務部 社会教育課	部課コード 120300	画 2998-9242
開始年度	昭和 61 年度	→	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令
分野別計画・指針	所沢市生涯学習推進計画・所沢市次世代育成支援行動計画	文化芸術振興基本法・社会教育法
関連・類似事業		
総合計画の体系	政策 第4章 いきいきと学び文化をはぐくむまち	施策 5節 市民文化
	中柱 2 芸術・文化活動の振興・発信	小柱 (2) 芸術・文化活動の奨励・支援
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 33 位	
	・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○	
行政改革大綱における行動計画への位置づけ	コード 3261	事務事業見直しの推進
	コード 3112	印刷物等への広告掲載
事業開始の背景	事業が始まった当時、所沢の文化を高めようという気運が市民に高まっており、航空記念公園を会場に、「文化」と「航空発祥」の2つのテーマをもとに新しい文化的格調の高いものを市民手作りで作るという趣旨で始まった。	

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に) 実行委員会による企画の立案や市民の文化活動の発表と交流の場の提供等を通して、文化の面から所沢のまちづくりに貢献し、新しい市民文化の創造を目指す。
	対象(誰を、何を対象としているのか) 市民
	利用数の考え方 会場入場者数
	対象数 単位
	平成 18 年度 337,883 人
	平成 19 年度 339,058 人
	利用数 単位
	平成 18 年度 71,700 人
	平成 19 年度 96,800 人
	事業の具体的な内容及び実施方法
	①毎年、4月第1週の土曜日・日曜日に航空記念公園を会場として開催する。催し物のひとつである高校演劇祭は6月にミュージズで開催する。 ②企画・運営は、個人・法人・市民団体の自主的な参加で組織する市民文化フェア実行委員会(市民のボランティア組織)が行なう。 ③実行委員会の主な自主財源は、市内企業・商店等からの協賛広告料である。 ④市は実行委員会に補助金を交付して運営を援助する。

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )
	<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了
	平成19年度中に改善した点
	各催し物を再度見直し、効率的な運営に努めた。

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		5,400	5,400	5,400
	決算(見込み含む)		5,400	5,400	
	(嘱託職員) (臨時職員)	( 人 ) ( 人 )	( 人 ) ( 人 )		
	正規職員人件費	0.54 人	4,968	0.46 人	4,321
	公費費				
	事業費合計		10,368	9,721	
	財源内訳	一般財源	10,368	9,721	5,400
		国・県支出金			
		受益者負担金			
		市債			
		その他			
	市民一人当たり(単位:円)		30.7	28.7	
	利用数一単位あたり(単位:円)		144.6	100.4	

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	市民文化フェア実行委員会関係者数	実行委員、各催し物スタッフ	人	300	300		
		市民文化フェア催事(プログラム)数	市民文化フェア催事(プログラム)の合計	事業	29	30		
	成果分析	事業参加者(会場入場者)数	4月の市民文化フェア2日間と6月の高校演劇祭の延べ入場者数	人	目標値	100000	100000	
				実績	71700	96800	実績値の拡大を図る1	
%				達成率	71.7	96.8	実績値の縮小を図る2	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	市民文化フェア実行委員会	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無
<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
明らかとなった課題	飲食ブースが少ない。また、新規に実施される催し物のうち、次年度以降も継続して行なわれるものが少ない。			
評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	事業参加者(会場入場者)	前年度以上	第23回(平成20年度)開催時
	平成21年度における事業の方向性			
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) )		
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由	「所沢のまちづくり、新しい市民文化の創造」という目的に基づきながら、実行委員会による自主的な企画運営により、多くの企業からの協賛金を得ながら、社会の動きに応じて事業内容を充実させている。そして、今後も更にその必要が高まっていくと考えられる。このため、実行委員会による新しい人材発掘や予算面の効率化を図る工夫が必要となる。また、市の他事業との調整を推進し、相乗効果をあげていく必要がある。開催にあたっては市からの援助を継続していく。次年度予算は厳しい財政状況を反映し現状どおりとし、その他引き続き様々な面で支援方法なども検討していきたい。			
評価日	平成20年5月9日	記入者職氏名	社会教育課長 則武辰夫	

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input type="checkbox"/> 終了						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由							
	評価日							
⑨個別計画における方向性	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
		評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
		評価日						

⑨環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
⑩次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	1241
基本目標	1子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします		
主要課題	2ホームタウンとしての家庭・地域づくり		
施策の方向	4地域に根付いた文化・スポーツの振興		